

[提案]

ポリシーWGにおける co-chair 設置

2008年11月27日

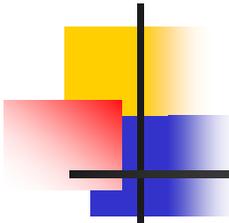
藤崎 智宏

ポリシーWG



提案の概要

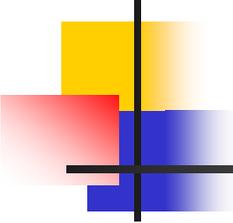
- ポリシーWG に, co-chair のポジションを設け, JPOPMの議事進行, および, コンセンサス判断をco-chair でも実施可能とする.



チェアの仕事に関する現規定

JPNIC文書 JPNIC-01059「JPNICにおけるIPアドレスポリシー策定プロセス」において、ポリシーWGのチェアは、

1. オープンポリシーフォーラムの進行
2. オープンポリシーフォーラムにおける、コンセンサスの判断
3. ML上でのコメント期間延長判断
4. ML上でのコンセンサス最終確認を実施することとなっている。



現規定上の問題点

- JPOPM10にて、チェア不在時にはポリシーWGメンバがチェアの代行を実施できるように、規定を改定
 - チェアが存在する場合には、代行不可.



ポリシー改訂提案

ポリシーWGで、新たにco-chair ポジションを設置し、
チェアの仕事のうち

1. オープンポリシーフォーラムの進行
2. オープンポリシーフォーラムにおける、コンセンサスの判断
3. ML上でのコメント期間延長判断
4. ML上でのコンセンサス最終確認

1,2 を代行できるよう、ポリシー文書を改訂する。



提案のメリット・デメリット

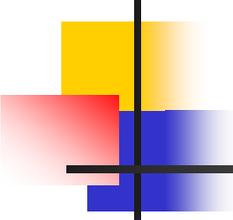
■ メリット

■ ポリシープロセスの公平性の向上

- チェアの関連する組織からの提案の場合, co-chair が代行することで, 公平な判断が可能☆
 - 併せて, ポリシーWG運営規則 (<http://venus.gr.jp/opf-jp/rule.html>) において, チェアと co-chair は同一組織からの選出は不可と規定する.
 - チェアからも提案が可能となる.

☆現在でも, コンセンサスの確認はポリシーWG内の議論にて実施されるため, JPOPMでチェアがコンセンサスとした内容でもポリシーWG全体の判断で非コンセンサスとできる.

■ デメリットは, 特になし



まとめ

- Co-chair の設置, および, チェア権限のポリシーを改訂する.
- あわせて, JPOPM10でのコンセンサスにおける修正もれも訂正
 - 3.2でのチェア代行の記述追加
 - 4.2 1,2 での, 過半数という記述